

株式会社フルスピード
2011年7月期・期末決算説明資料
(2010年8月1日 ～ 2011年7月31日)

2011.9.14

FULL SPEED
international

I	2011年7月期決算概要	3
II	主要事業の概況	12
III	2012年7月期業績予想	17
IV	フルスピード新経営戦略	20

－ 参考資料 －

A	会社概要	29
B	財務データ	35
C	インターネット関連用語集	39

I . 2011年7月期決算概要

I

2011年7月期決算概要

1.	2011年7月期ハイライト①	4
2.	2011年7月期ハイライト②	5
3.	直近5カ年の連結売上高・営業利益	6
4.	直近四半期の連結営業利益の推移	7
5.	連結P/Lサマリー	8
6.	コア事業の業績(参考)	9
7.	連結B/Sサマリー	10
8.	連結有利子負債の状況	11

1. 2011年7月期ハイライト①

2011年7月期 ハイライト（財務面）

コア事業の収益力の
堅調な回復

- コア事業から創出された通期の営業利益（連結）は460百万円まで回復

継続課金型サービスによる
安定した収益源の確保

- 2010年1月より拡販を始めた継続課金型サービス「フルスピードクラブ」の会員数は、現在1,000件超に到達

財務体質改善とともに戦略的投資資金の確保

- 親会社（フリービット株）によるグループ・ファイナンスを実行
- 2011年7月に親会社に対する第三者割当増資を実施

2. 2011年7月期ハイライト②

2011年7月期 ハイライト（ビジネス面）

インターネット広告市場は
高い成長率を今後も維持

- 2010年のインターネット広告市場は7,747億円（前年対比9.6%増）と年々成長を加速

ソーシャルメディア向け
サービスの拡販を加速

- Twitter向けコンサルティングサービスは徐々に利益貢献
- facebook向けのソリューション開発を加速

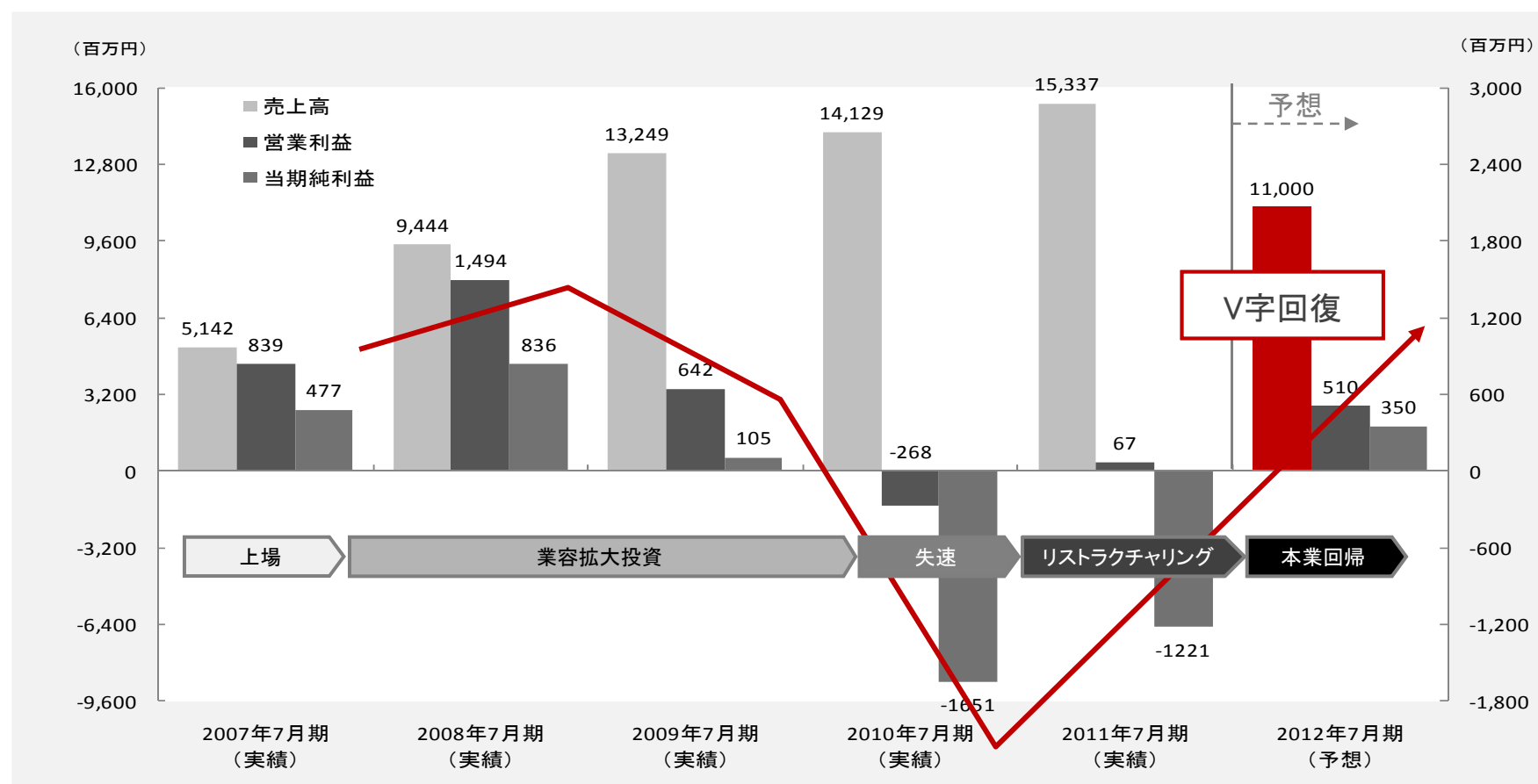
マネジメント体制および
経営方針の刷新

- 新しいマネジメント体制による新しい経営方針に基づき、事業構造改革を加速

3. 直近5カ年の連結売上高・営業利益

売上高は直近4年連続で前年比を上回る153億円を達成。
営業利益はノンコア事業の切り離しのタイミング以降、本格的に回復。(次ページご参照)

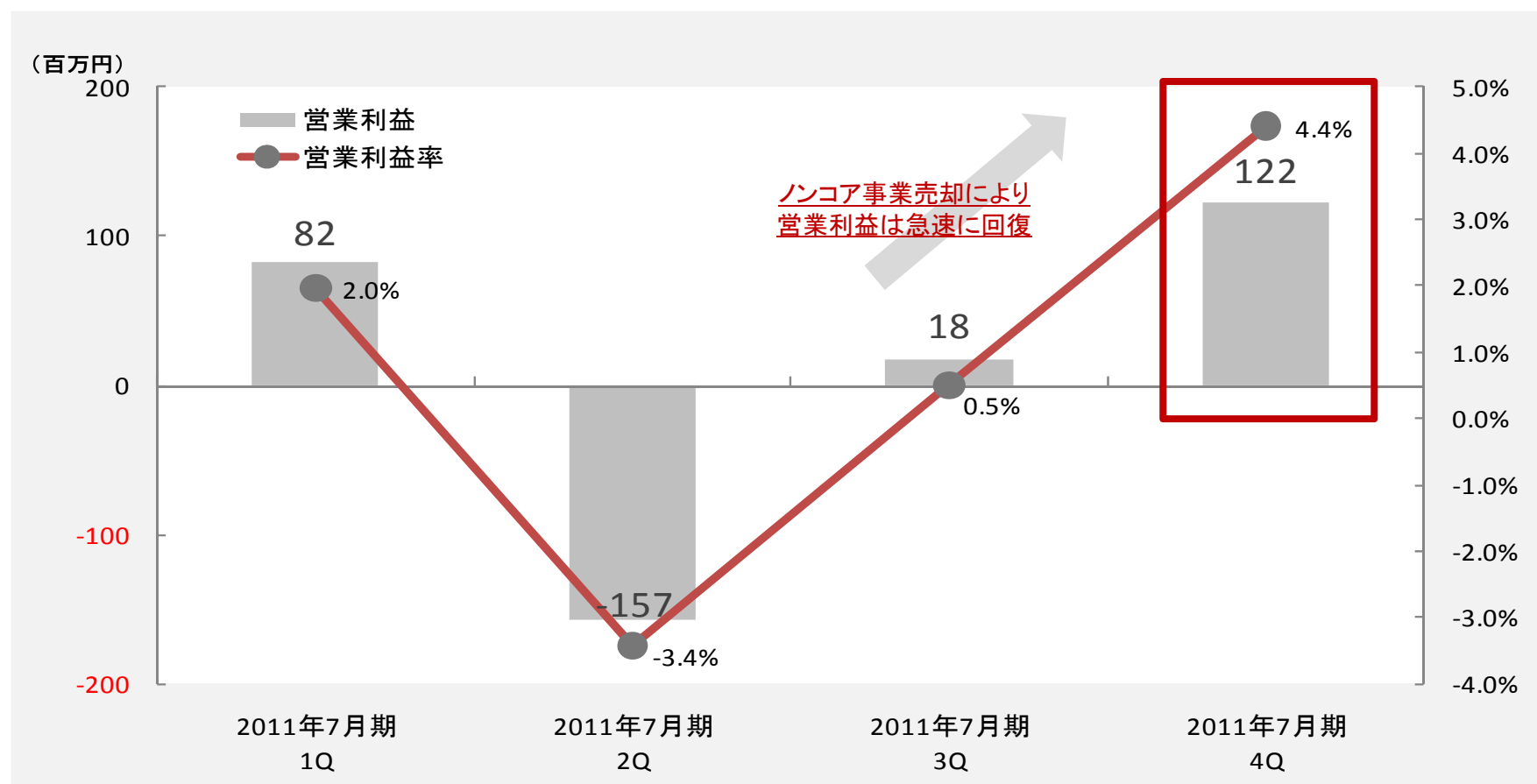
連結売上高・営業利益の推移(直近5カ年)



4. 直近四半期の連結営業利益の推移

営業利益は当第4四半期より一気に回復基調。
ノンコア事業の売却以降、営業利益の水準は毎月約40百万円まで回復。

連結営業利益(営業利益率)の推移



5. 連結P/Lサマリー

連結P/Lサマリー

	2010年7月期 通期 2009/8/1～ 2010/7/31	2011年7月期 通期 2010/8/1～ 2011/7/31	対前期 増減額
(単位: 百万円)			
売上高	14,129	15,337	+1,208
売上原価	10,520	10,818	+298
原価率	74.5%	70.5%	
売上総利益	3,608	4,518	+910
販売費及び一般管理費	3,876	4,451	+575
販管費比率	27.4%	29.0%	
EBITDA ^(※1)	169	602	+433
EBITDAマージン	1.2%	3.9%	
営業利益	△ 268	67	+335
営業利益率	-	0.4%	
営業外収益	68	70	+2
営業外費用	221	146	-75
経常利益	△ 421	△ 8	+413
経常利益率	-	-	
特別利益	49	15	-34
特別損失	1,158	1,133	-25
当期純利益	△ 1,651	△ 1,221	+430
四半期純利益率	-	-	

(注1) EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

※EBITDA(利払い税引き償却前利益: Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortization)とは、他人資本を含む資本に対してどの程度のキャッシュフローを創出したかを簡易的に示す利益指標

■ 売上高/売上総利益の増加

ノンコア事業分が前期と比較して、売上高・売上総利益ともに増加しているが、営業利益以下は、利益貢献せず。

■ EBITDAは大幅に改善

キャッシュフローに基づく収益力を表すEBITDAは、コア事業の収益回復に起因し、前期比433百万円増加。着実な業績回復基調。

■ 通期ベースでの営業黒字を達成

不採算事業であったノンコア事業の負担が軽減したことと、安定したコア事業の展開により、営業利益が大幅に改善。

■ ノンコア事業の売却による損失計上

事業の選択と集中のための一過性の損失計上。上期以降、当期に発生した14億円超の繰越欠損金を活用することで、大幅な税負担の圧縮が可能。

6. コア事業の業績(参考)

連結・単体・コア事業のみの業績比較

(単位: 百万円)

2011年7月期			
通期			
2010/8/1～2011/7/31			
	コア事業＋ノンコア事業		コア事業
	連結	単体	コア事業のみ
会社数(単体含む)	8社	-	5社
関連会社数	1社	-	-
売上高	15,337	8,036	10,736
売上原価	10,818	6,581	8,277
原価率	70.5%	81.9%	77.1%
売上総利益	4,518	1,455	2,458
販売費及び一般管理費	4,451	1,242	1,998
販管費比率	29.0%	15.5%	18.6%
EBITDA	602	261	674
EBITDAマージン	3.9%	3.2%	6.3%
営業利益	67	213	460
営業利益率	0.4%	2.7%	4.3%

通期で460百万円の営業利益をベンチマークとしつつも、来期以降はサービス商材の利益率の改善に加え、運営オペレーションの効率化等により、さらなる利益水準の向上を目指す。

(注) コア事業のみの業績数値の算出について
コア事業のみの業績数値は、コア事業を主業とする当社単体および連結子会社4社(株式会社ベッコアメ・インターネット、株式会社フォーイト、株式会社ファンサイド、株式会社フライト)の業績により参考値として算出しています。

7. 連結B/Sサマリー

資産の部

(単位: 百万円、以下切捨て)

	2010/7 (前期末)	2011/4 (3Q末①)	2011/7 (期末②)	増減 (②-①)
現金及び預金	1,405	1,516	1,516	+0
売掛金	1,845	1,834	1,442	-392
未収入金	118	70	43	-27
商品	282	419	82	-337
その他	254	256	215	-41
流動資産合計	3,904	4,095	3,298	-797
建物(純額)	322	315	230	-85
工具、器具及び備品(純額)	265	209	205	-4
土地	172	172	172	0
その他(純額)	99	75	10	-65
有形固定資産合計	859	771	617	-154
のれん	2,385	1,046	211	-835
その他	64	51	47	-4
無形固定資産合計	2,449	1,097	258	-839
投資有価証券	330	266	220	-46
差入保証金	666	448	250	-198
繰延税金資産	70	25	7	-18
その他	76	72	196	+124
投資その他の資産	1,142	811	673	-138
固定資産合計	4,452	2,679	1,549	-1,130
総資産	8,356	6,775	4,848	-1,927

・ノンコア事業の売却による減少(連結除外に伴う処理)

負債・純資産の部

	2010/7 (前期末)	2011/4 (3Q末①)	2011/7 (期末②)	増減 (②-①)
買掛金	1,724	1,628	1,042	-586
短期借入金	2,434	2,249	1,010	-1,239
1年内返済長期借入金	718	763	638	-125
未払金	397	388	137	-251
未払法人税等	126	60	74	+14
その他	209	266	237	-29
流動負債合計	5,608	5,354	3,138	-2,216
長期借入金	1,188	1,090	1,398	+308
その他	247	270	211	-59
固定負債合計	1,435	1,360	1,609	249
負債合計	7,044	6,714	4,748	-1,966
資本金	697	697	746	49
資本剰余金	668	668	717	49
利益剰余金	△ 180	△ 1,441	△ 1,402	+39
株主資本合計	1,184	△ 75	62	137
少数株主持分等	140	122	25	-97
純資産合計	1,312	60	100	40
負債純資産合計	8,356	6,775	4,848	-1,927

・主にフルスピード単体の短期借入金の減少

・短期借入金からの借り換えによるフルスピード単体による長期借入金の増加

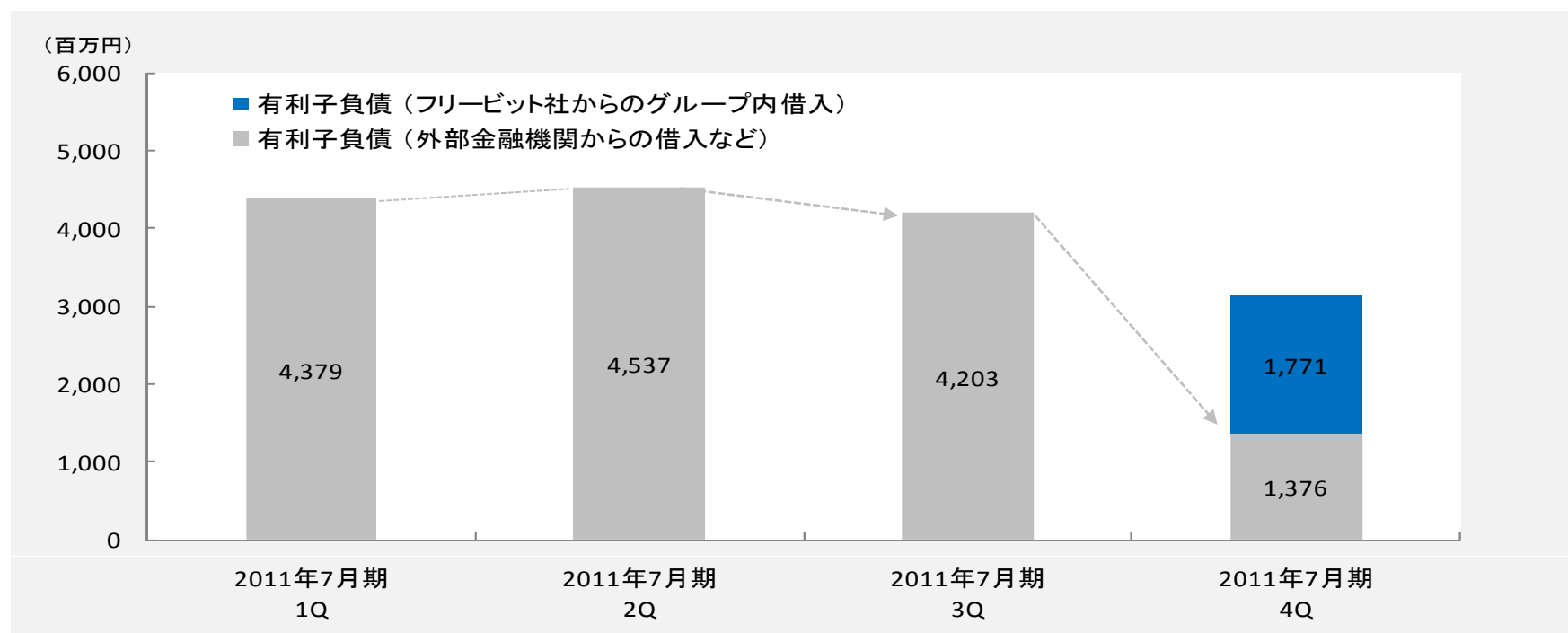
8. 連結有利子負債の状況

有利子負債の圧縮による財務の安定化

ノンコア事業（主にアパレル事業）の負債が切り離され、当第4四半期末における有利子負債は大幅に減少。来期にかけても、引き続き削減する方針

来期の収益回復に伴い利益を積み上げることで、引き続き安定した財務基盤の構築を図る

有利子負債の推移（連結）



Ⅱ．主要事業の概況

Ⅱ

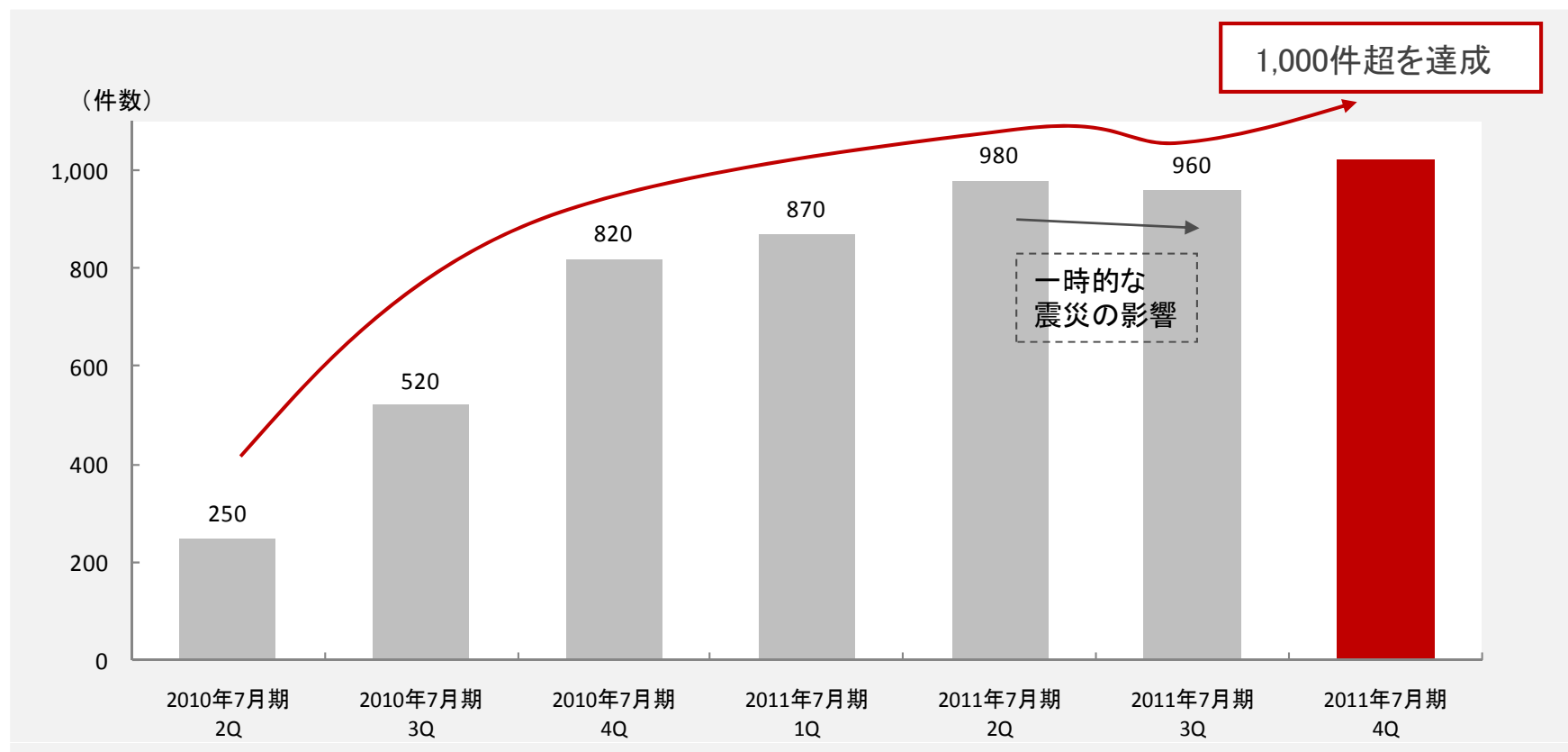
主要事業の概況

1. 主要事業の概況①～④

13～16

1. 主要事業の概況①: 法人支援事業 フルスピードクラブ

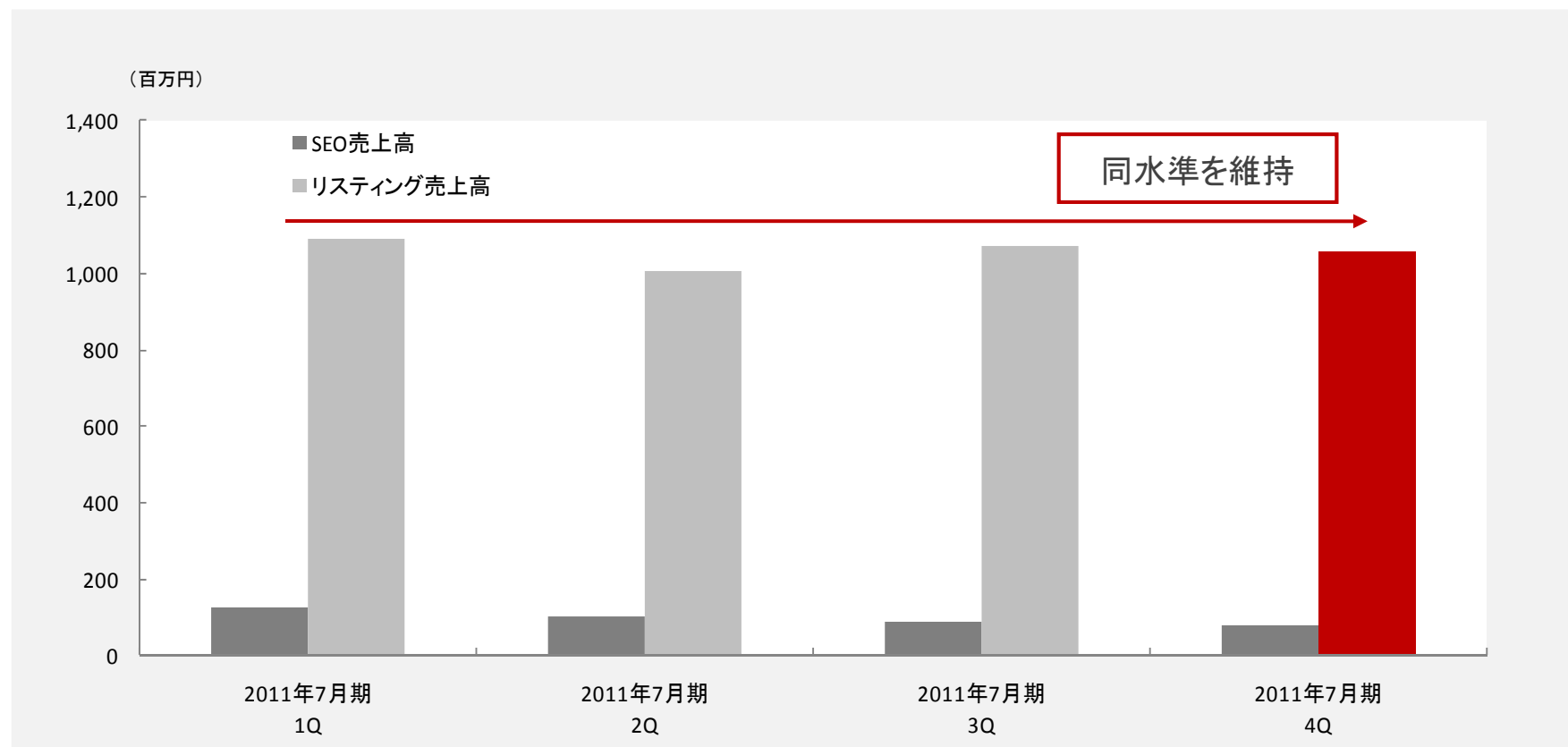
フルスピードクラブの契約件数の推移



- 2011年7月末時点、「フルスピードクラブ」契約件数は再び1,000件超を達成
- 現在、企業ニーズに対応した「フルスピードクラブ」のパッケージを拡充し、営業活動を展開
顧客志向を重視した営業施策が奏功し、契約件数は順調に増加

2. 主要事業の概況②: 法人支援事業 SEO/リスティング広告

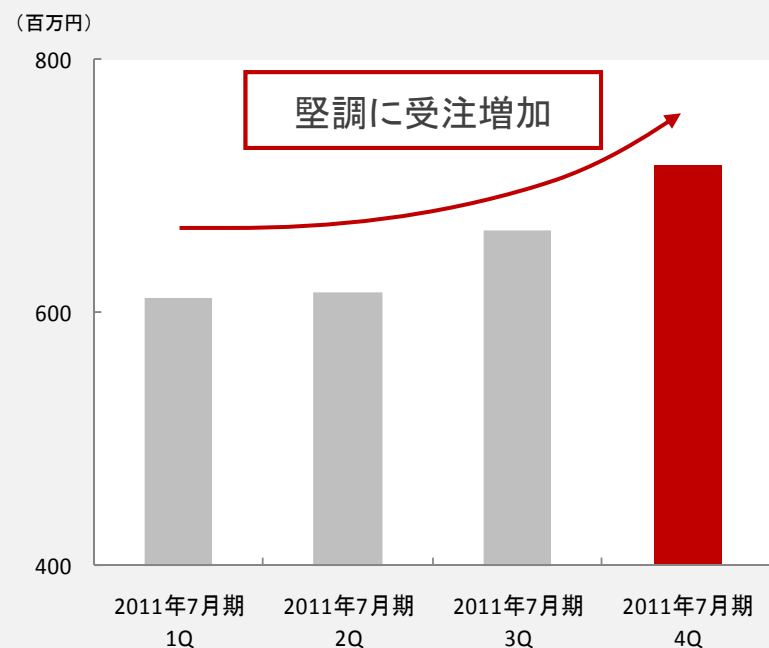
SEO/リスティング広告売上高の推移



- 当期は「フルスピードクラブ」を通じたサービス提供に従事
四半期毎の売上高は、ほぼ同水準で推移
- サービスクオリティ向上のためのプロジェクトが進展すると共に、サービス運営体制も強化

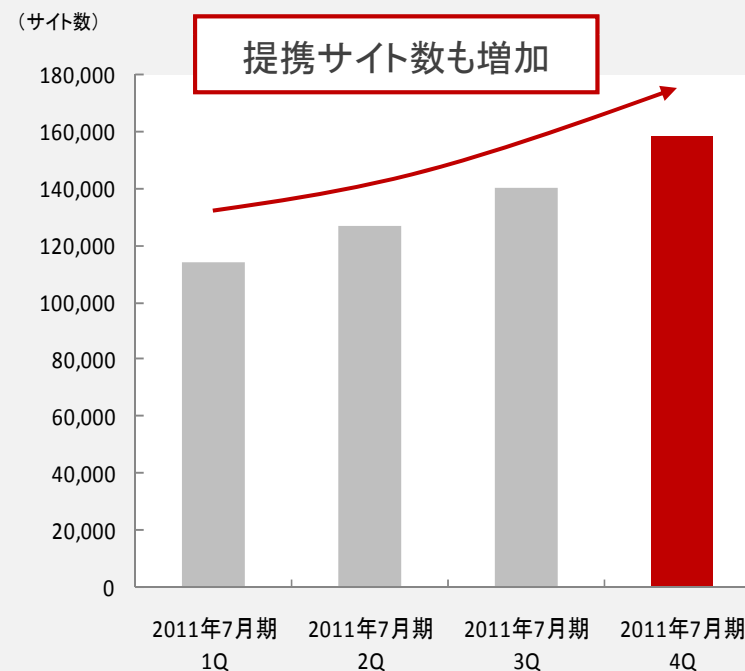
3. 主要事業の概況③: アフィリエイト事業

アフィリエイト事業売上高の推移



(注) 比較に際して用いる当期の数値は、法人支援事業のアフィリエイト広告とアフィリエイトサービスプロバイダー事業の各売上高を合算したものを内部取引額を消去した数値を算出し、比較しています。

提携サイト数の推移

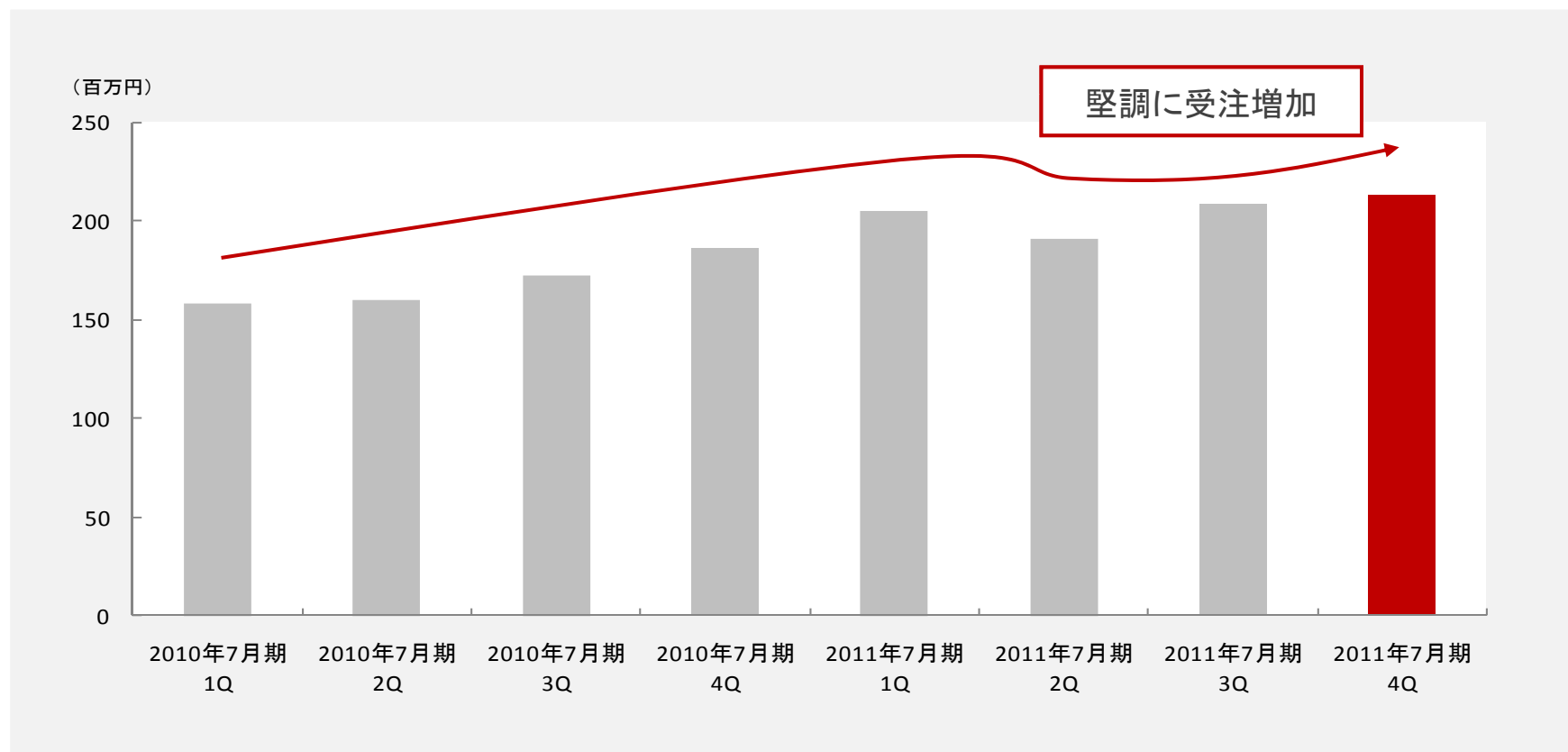


(注) 提携サイト数は、PCおよびモバイルを合算した数を記載しております。

- 当期も引き続き、受注は増加基調を継続
顧客業界の新規開拓が進む等、積極的な営業活動により、取り扱うプロモーション数は順調に増加
- 提携サイト数はPC・モバイルを合わせ、約16万サイトにまで拡大し、多様な顧客業界に対応可能

4. 主要事業の概況④: データセンター事業

データセンター事業売上高の推移



- ホスティングサービスと高利益率のハウジングサービスの受注が好調
新たな収益源として注力しているアプリケーションサービスも順調に進展
- 2013年4月末より、ベッコアメ社買収時ののれん償却負担(年間61百万円)がなくなり、
データセンター事業の獲得利益がフルスピードの連結の営業利益に本格的に寄与する予定

Ⅲ. 2012年7月期業績予想

Ⅲ

2012年7月期業績予想

- | | |
|------------------|----|
| 1. 2012年7月期 業績予想 | 18 |
| 2. 2012年7月期 配当予想 | 19 |

1. 2012年7月期業績予想

早期に業績回復を実現する計画

コア事業中心に収益基盤を固め、更に成長を加速させる方針
インターネットマーケティングの各事業の強化を図ることで、四半期毎に利益を積み上げる
ノンコア事業の売却により、連結業績へのマイナス影響の懸念を払拭

2012年7月期 第2四半期・通期の業績予想

		第2四半期累計			通期		
		2011年7月期 (実績)	2012年7月期 (計画)	対前年差額	2011年7月期 (実績)	2012年7月期 (計画)	対前年差額
		2010/8/1～ 2011/1/31	2011/8/1～ 2012/1/31		2010/8/1～ 2011/7/31	2011/8/1～ 2012/7/31	
(単位: 百万円)							
売上高		8,779	5,300	△ 3,479	15,337	11,000	△ 4,337
売上高成長率		40.2%	-39.6%		8.6%	-28.3%	
営業利益		△ 74	130	+204	67	510	+443
営業利益率		-	2.5%		0.4%	4.6%	
経常利益		△ 104	95	+199	△ 8	450	+458
経常利益率		-	1.8%		-	4.1%	
当期純利益		△ 326	50	+376	△ 1,221	350	+1,571
当期純利益率		-	0.9%		-	3.2%	
1株当たり当期純利益(円)		△2,272.14	339.90		△ 8,504.03	2,379.33	

2. 2012年7月期配当予想

2012年7月期 配当予想について

当面は財務体質改善と次の成長に向けた投資を優先

現在、当社においては、財務体質の強化が急務であるため、内部留保を優先し、2011年7月期においては無配を予定

内部留保により確保した資金を事業基盤強化のための投資に充当することで、再び高成長軌道に回帰し、利益成長による企業価値の向上を通じて、株主の方々に対する還元を目指す考え

中期的な業績動向や財務状況の進捗を踏まえ、復配を検討

IV. フルスピード新経営戦略

IV

フルスピード新経営戦略

1.	新しいフルスピードの事業コンセプト	21
2.	フルスピードの4つの事業領域	22
3.	フルスピードの事業拡張領域	23
4.	計画実現に向けた来期(2012年7月期)の重点施策	24
5.	重点施策 ①顧客開拓戦略	25
6.	重点施策 ②システム開発環境の増強	26
7.	来期(2012年7月期)の目標数値	27
8.	中期経営計画	28

1. 新しいフルスピードの事業コンセプト



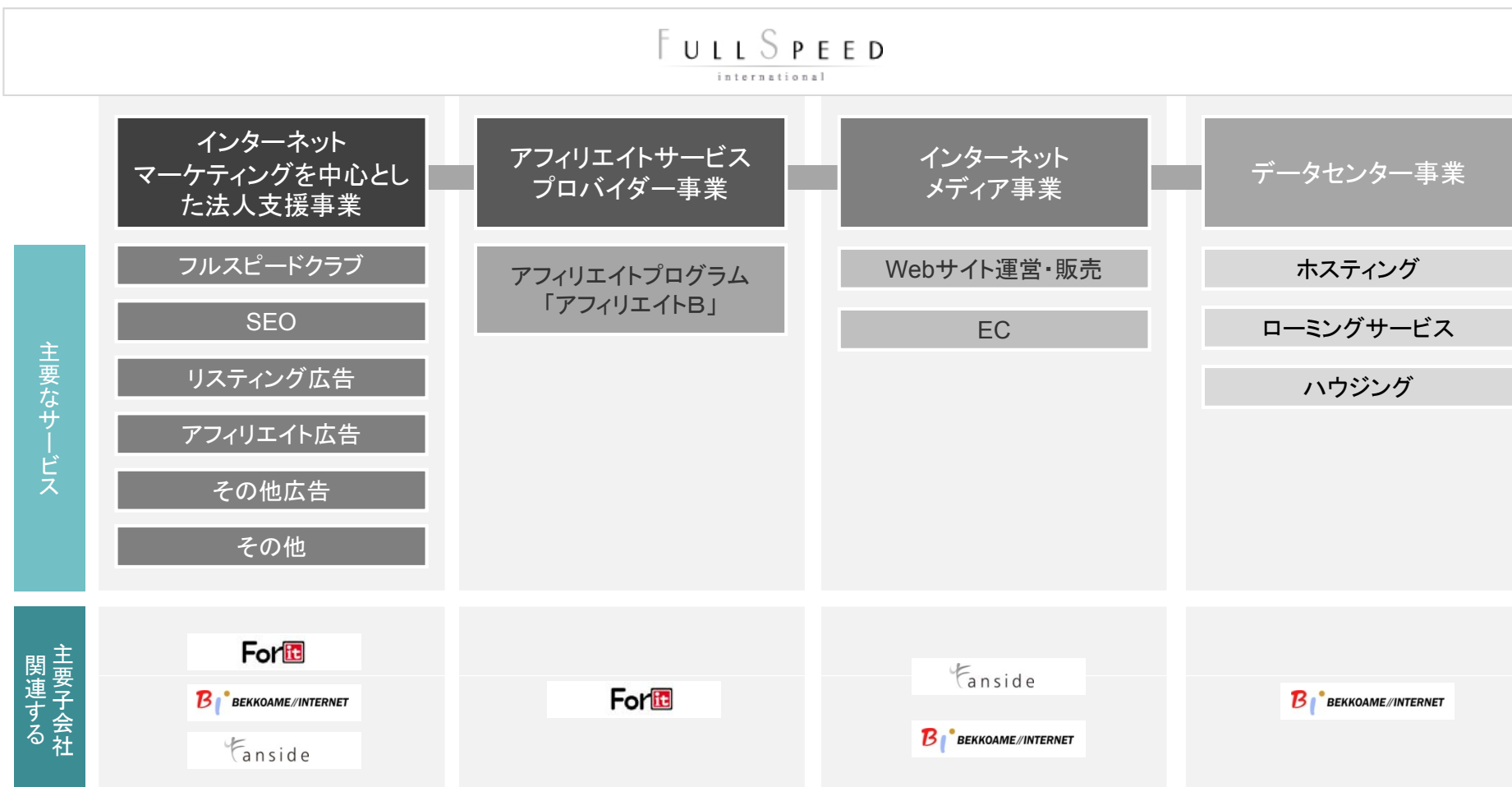
“AdTechnology & Marketing Company”

- アド・テクノロジー & マーケティング カンパニー -

- アド・テクノロジーを基盤に、インターネットマーケティングを必要とする
あらゆる国内外企業を総合的に支援する -

2. フルスピードの4つの事業領域

フルスピードの4つの事業領域



- 上記4つの既存事業以外に、新たな収益の柱となる新規ビジネス領域を開拓する方針

3. フルスピードの事業拡張領域

事業領域

ソーシャル・メディア領域

facebook向け広告サービス、Twitter向け
付加価値ツールの開発



スマートデバイス／アプリ領域

スマートフォン(iPhone／Android)、タブレット端
末(iPad他)向けのサービス開発



FULL SPEED
international

アドネットワーク領域

Ad Exchange向けサービスを開始
(予定)



行動ターゲティング領域

ISP大手の強みを活かしたユーザー
行動履歴データを用いたリマーケ
ティング

ユーザビリティ領域

通常のアクセス解析の領域を超え、
より高度なレベルでのユーザビリ
ティ解析

- 今後は圧倒的な技術力により差別化できる事業領域にのみ展開する。上記以外にも市場黎明期から進出することでメリットが取れるポテンシャルの高い市場があれば早期に事業展開を行う。

4. 計画実現に向けた来期(2012年7月期)の重点施策

具体的な重点施策

ナショナルクライアントの開拓に向けた営業・サービス体制の確立

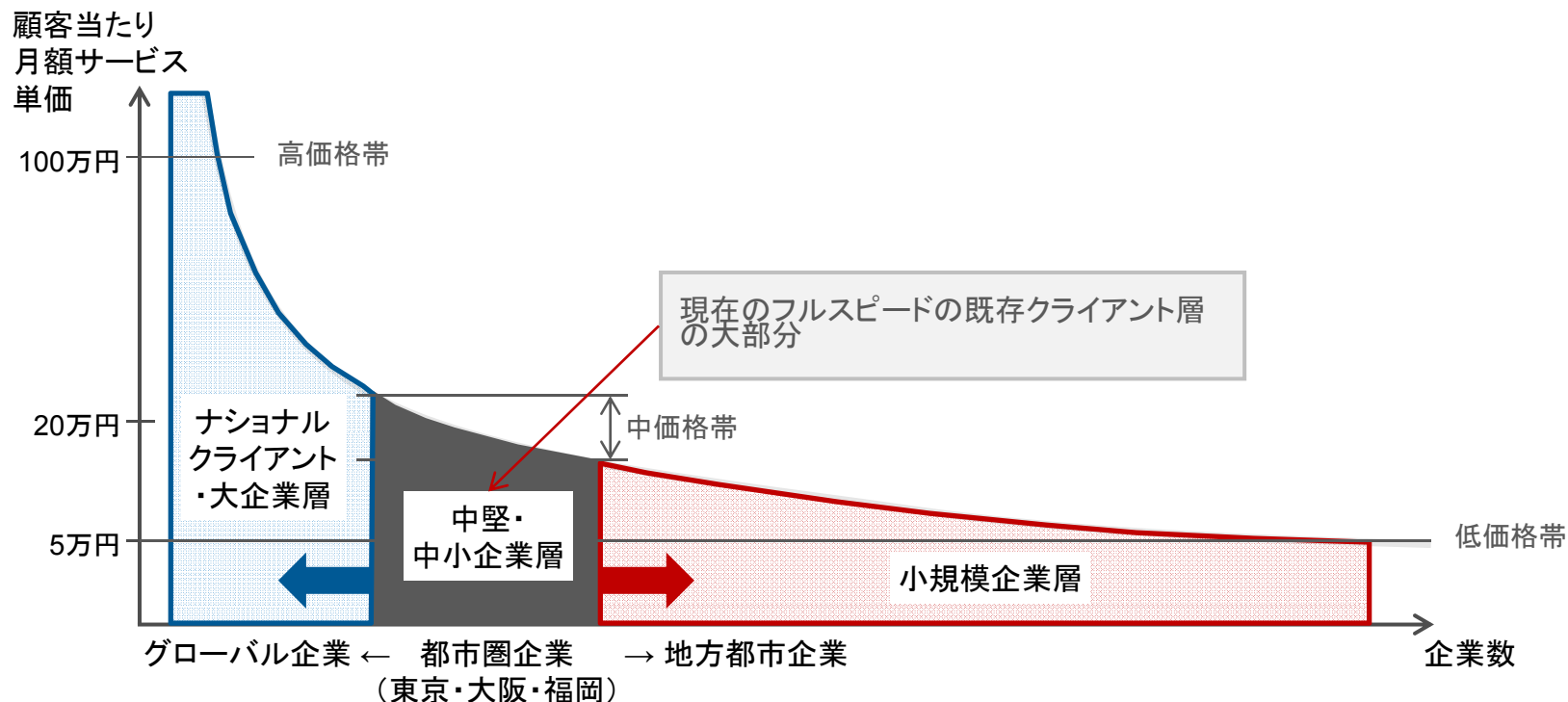
地方都市における地域ドミナントOEM展開による低価格ゾーンを開拓

圧倒的な技術力の差別化による提供サービスの向上

高付加価値サービスの開発に向けた自社システム開発体制の確立

5. 重点施策 ①顧客開拓戦略

ナショナルクライアント開拓×ロングテール戦略



営業体制の変革

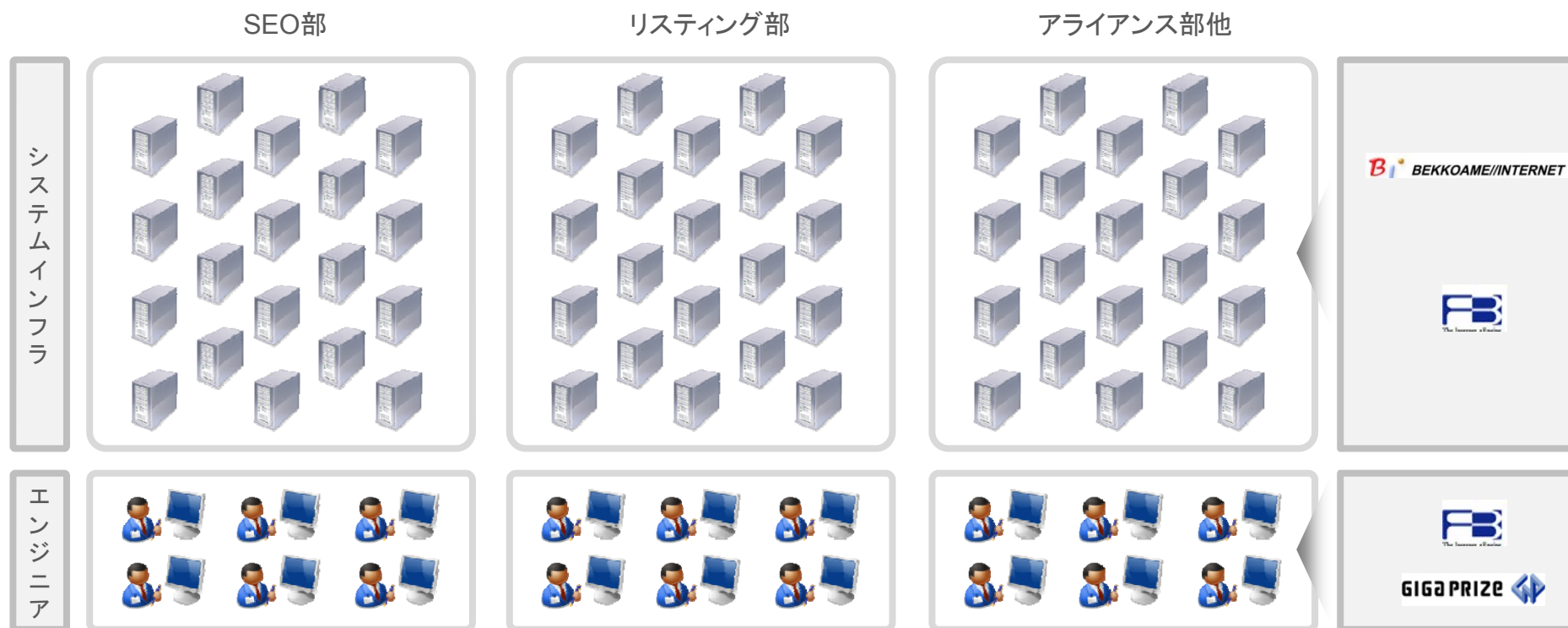
- 中小企業対象の営業体制に加えて、大手企業への営業アプローチを強化
- 専門的な知識を有するコンサルティングチームの充実/強化

地方への展開を加速

- 西日本エリア(大阪、福岡の2拠点)における市場開拓を強化
- SEO事業者対象のフルスピードクラブ「SEO's SEO」の地方顧客の開拓を本格的に開始

5. 重点施策 ②システム開発環境の増強

既存システムおよび開発人員体制の増強



システムインフラへの
投資

- ネットワークおよびデータサーバーについては、親会社フリービットと子会社ベッコアメを活用し、他社を圧倒できる大規模なネットワークを構築

開発エンジニアの増強

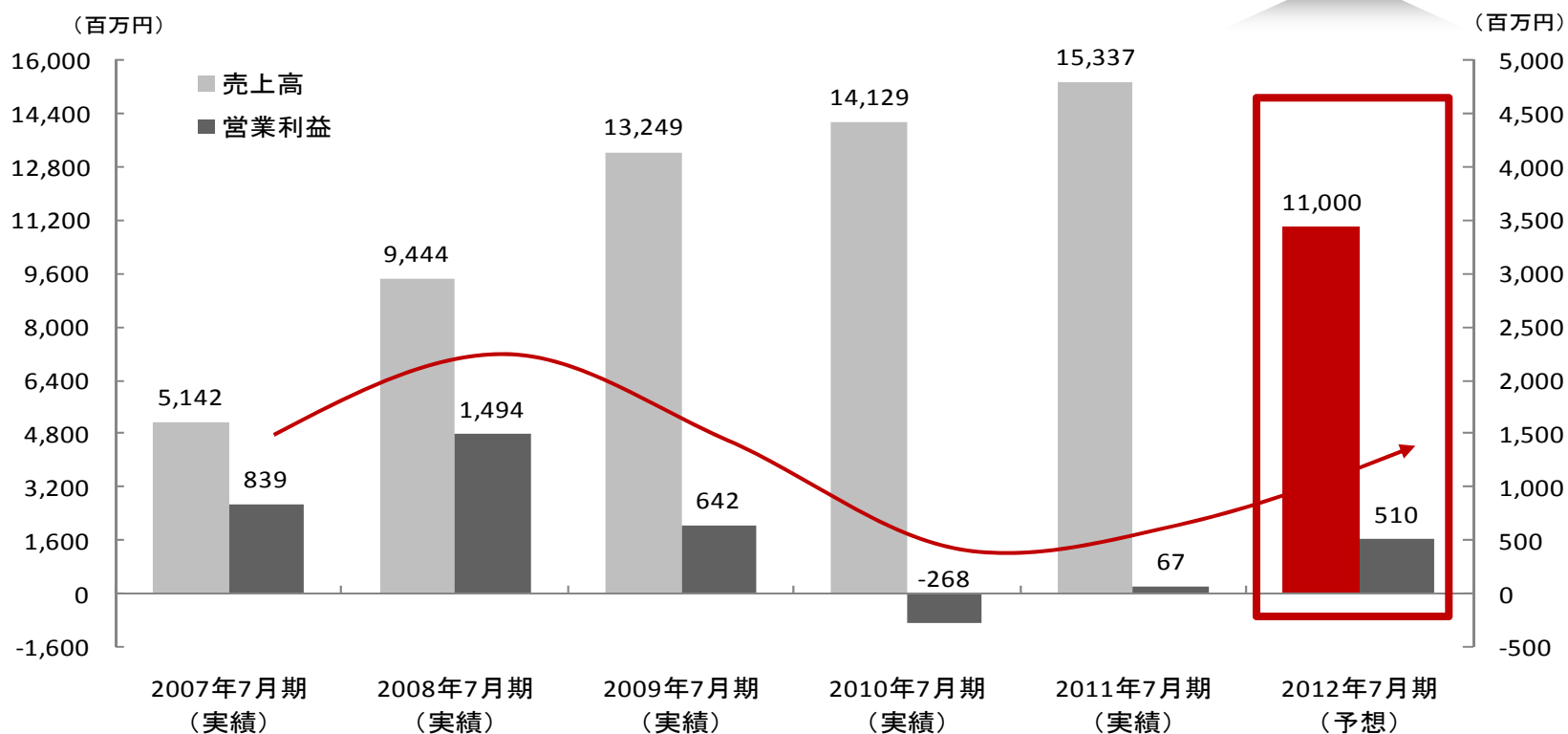
- 差別化要因である技術力の強化のため、フリービットおよびグループ関連企業のギガプライズ(受託開発会社)より、優秀なエンジニアを派遣し、アド・テクノロジーの研究チームを形成

6. 来期(2012年7月期)の目標数値

連結業績推移のイメージ(売上高/営業利益)

- 来期の売上高は、ノンコア事業を除いたコア事業の正常な収益水準(110億円)を目標設定
- 来期は投資フェーズである状況も鑑み、営業利益は5.1億円に設定

2012年7月期の営業利益率
を4.6%の水準に



中期経営計画の公表について

中期経営計画は今後の進展を踏まえ再策定する方針

現行の改善・強化の進展と、新たなサービスを生み出す企画力や技術力を備える準備の状況を勘案しながら、中期ビジョンを具体化していく方針

今期は本業回帰元年として、全ての経営リソースをコア事業に投入し、確実に利益を計上するとともに今後の成長に向けて基礎固めを行う。

この方針が結実できれば、過去最高益を更新することが可能

(添付資料) A.会社概要

A

会社概要

1.	会社概要	.30
2.	企業理念	31
3.	当社グループの概要	32
4.	社員数の推移(単体・連結)	33
5.	株主の状況	34

1. 会社概要

株式会社フルスピード 概要

社名 株式会社フルスピード
英文社名 Full Speed Inc.
設立日 2001年1月4日
上場日 2007年8月2日（東証マザーズ市場:2159）

役員
代表取締役社長 田中 伸明
取締役 泉 健太
取締役 加藤 浩司
取締役 植松 聡介
常勤監査役 高原 俊介
監査役 齊藤 文彦
監査役 永井 清一
監査役 清水 高

グループ
事業内容
・インターネットマーケティングを中心とした
法人支援事業
・アフィリエイトサービスプロバイダー事業
・インターネットメディア事業
・データセンター事業
・その他法人向け事業

従業員数 連結223名（うち正社員208名）
単体171名（うち正社員169名）
2011年7月末日現在

本 社 〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
渋谷マークシティウエスト13階
TEL: 03-5728-4460（代表）
FAX: 03-5728-4461



〔渋谷マークシティウエスト（外観）〕

【アクセス・経路】

- 東急東横線
（渋谷駅正面口より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）
- 京王井の頭線
（渋谷駅中央口よりEAST MALL 2Fに直結 徒歩3分）
（渋谷駅アベニュー口よりRESTAURANTS AVENUE 4Fに直結徒歩1分）
（渋谷駅西口よりWEST MALL 1Fに直結 徒歩3分）
- 東京メトロ半蔵門線・副都心線
東急田園都市線
（渋谷地下街5番出口より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）
- 東京メトロ銀座線
（渋谷駅東急東横店改札より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）
- JR山手線・埼京線
（渋谷駅玉川改札より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）

【アクセス・マップ（本社）】



2. 企業理念

フルスピードの企業理念

インターネットマーケティング業界において、
優れたサービスの開発と高い顧客満足を提供する
会社になることで、顧客、社員、株主、そして社会に
貢献すること

フリービットグループの一員としてのグループ憲章

Being The NET Frontier !
～ Internetをひろげ、社会に貢献する ～

フルスピードは、フリービットグループの一員として、インターネットマーケティングの
領域で、優れたサービスを提供することを通じて、社会に貢献していきます

3. 当社グループの概要

当社グループの主要な事業



連結子会社

株式会社フォーイト

(フルスピード持分比率: 100%)

・アフィリエイトサービスプロバイダー事業

株式会社ベッコアメ・インターネット

(フルスピード持分比率: 100%)

・データセンター事業
・インターネットメディア事業 (EC)
・その他事業

株式会社ファンサイド

(フルスピード持分比率: 100%)

・インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業

株式会社フライト

(フルスピード持分比率: 51%)

・インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業

株式会社JPS

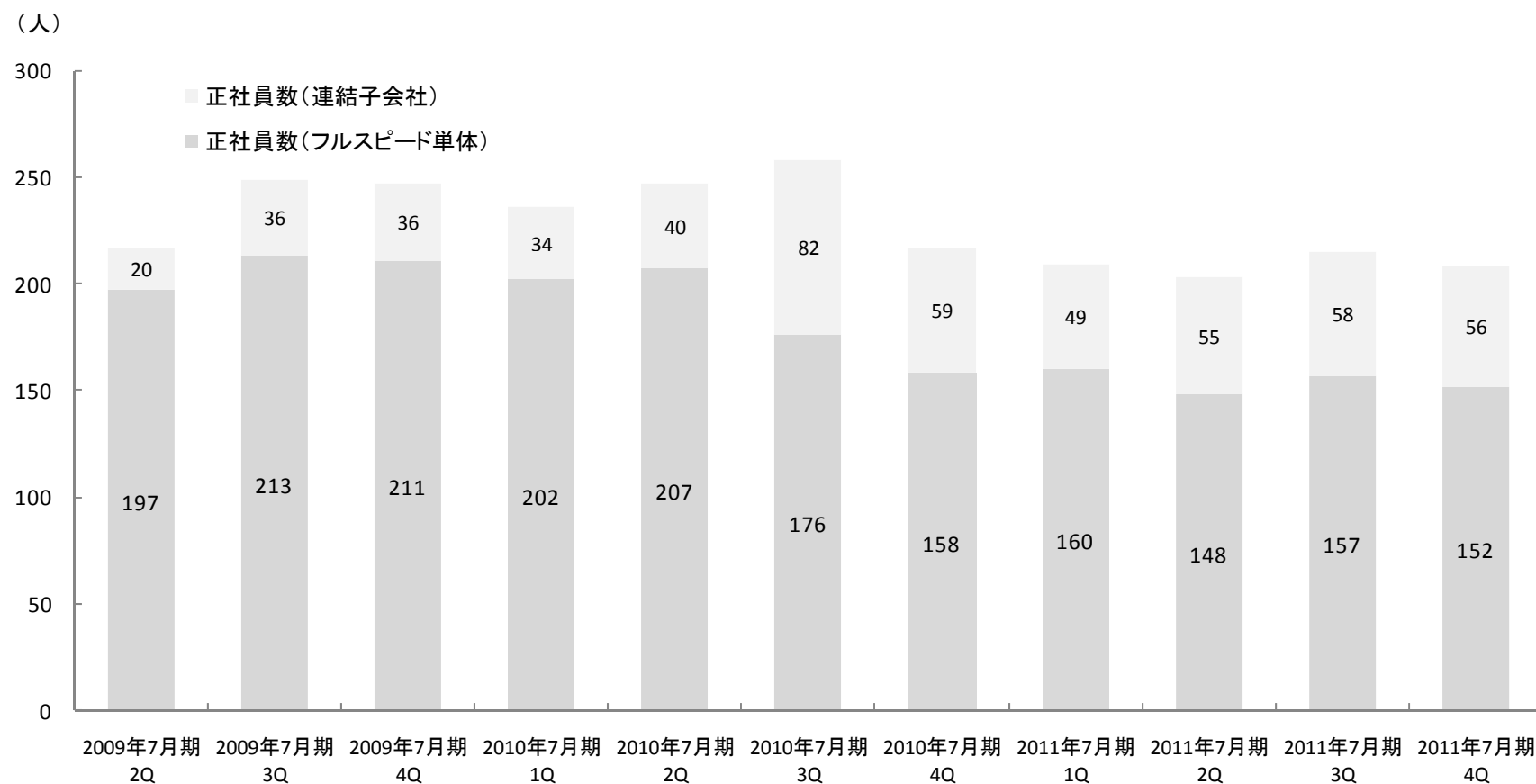
(フルスピード持分比率: 100%)

・その他事業

(2011年7月31日現在)

4. 社員数の推移(単体・連結)

正社員数の推移 (アパレル事業を担うギルドを除く)

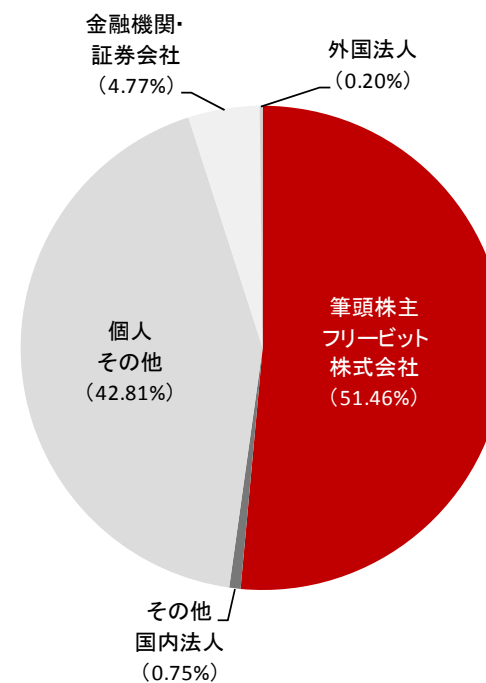


※連結子会社には、フォーイト、ベッコアメ・インターネット、ファンサイド、フライト、JPSの5社が含まれています。

5. 株主の状況

上位株主(1位～10位)の状況

2011年7月31日現在			
順位	株主氏名	所有株数	持株比率
1	フリービット株式会社	75,704	51.46%
2	芳賀 麻奈穂	11,476	7.80%
3	日本証券金融株式会社	1,460	0.99%
4	松井証券株式会社	1,204	0.82%
5	マネックス証券株式会社	1,319	0.90%
6	一般個人株主	660	0.45%
7	大和証券株式会社	647	0.44%
8	楽天証券株式会社	639	0.43%
9	一般個人株主	540	0.37%
10	一般個人株主	537	0.37%



(添付資料) B.財務データ

B

財務データ

- | | |
|----------------------|----|
| 1. 財務データ(連結PL) | 36 |
| 2. 財務データ(連結BS) | 37 |
| 3. 財務データ(事業セグメント別売上) | 38 |

1. 財務データ(連結P/L)

(単位:百万円)	2007年7月期	2008年7月期	2009年7月期	2010年7月期	2011年7月期
売上高	5,142	9,444	13,249	14,129	15,337
売上原価	3,387	6,304	9,912	10,520	10,816
売上総利益	1,755	3,140	3,337	3,608	4,518
役員報酬	103	106	159	170	152
給与及び手当	310	577	786	1,068	1,214
採用教育費	69	76	68	37	39
地代家賃	86	148	453	592	645
貸倒引当金繰入額	16	42	70	301	145
貸倒損失	1	-	5	-	-
減価償却費	-	-	-	80	115
のれん償却費	-	-	-	357	434
その他	325	694	1,150	1,267	1,707
販売費及び一般管理費	915	1,645	2,694	3,876	4,451
営業利益又は営業損失(△)	839	1,494	642	△268	67
営業外収益	32	37	73	68	70
営業外費用	20	48	103	221	146
経常利益及び経常損失(△)	851	1,484	613	△421	△8
前期損益修正益	-	7	-	14	-
固定資産売却益	-	-	73	31	7
投資有価証券売却益	-	-	-	-	7
関係会社株式売却益	-	-	86	-	-
その他	-	5	10	2	-
特別利益	-	12	170	49	15
固定資産除却損	-	82	45	20	34
固定資産売却損	-	-	-	22	-
本社移転費用	-	-	72	51	-
前期損益修正損	-	-	22	-	-
減損損失	12	2	181	138	89
商品評価損	-	-	82	-	-
投資有価証券評価損	-	-	-	737	141
のれん償却額	-	-	-	-	812
その他	-	-	150	187	57
特別損失	12	2	555	1,158	1,133
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	839	1,494	227	△1,530	△1,126
法人税、住民税及び事業税	384	693	164	44	110
過年度法人税等	-	-	-	16	-
法人税等調整額	△22	△29	10	33	3
法人税等合計	361	663	175	94	113
少数株主利益又は少数株主損失(△)	-	△6	△53	26	△17
当期純利益又は当期純損失(△)	477	836	105	△1,651	△1,221

2. 財務データ(連結B/S)

(単位: 百万円)	2007年7月期	2008年7月期	2009年7月期	2010年7月期	2011年7月期
現金及び預金	628	2,016	1,680	1,405	1,516
売掛金	888	1,735	1,942	1,845	1,442
未収入金	888	52	115	118	43
商品	15	131	80	282	82
その他	116	159	469	254	215
流動資産合計	1,649	4,093	4,286	3,904	3,298
建物(純額)	-	141	233	322	230
工具器具備品(純額)	-	298	270	265	205
土地	-	172	172	172	172
その他(純額)	39	1	11	100	10
有形固定資産	39	613	686	859	617
のれん	147	1,083	837	2,385	211
その他	75	175	103	64	47
無形固定資産	223	1,258	940	2,449	258
投資有価証券	19	313	1,431	330	220
差入保証金	19	342	467	666	250
繰延税金資産	19	34	54	70	7
その他	128	42	162	76	196
投資その他の資産	147	732	2,114	1,142	673
固定資産合計	410	2,604	3,742	4,452	1,549
総資産	2,059	6,698	8,028	8,356	4,848
買掛金	399	918	922	1,724	1,042
短期借入金	45	1,350	2,550	2,434	1,010
1年内返済長期借入金	0	276	394	718	638
未払金	0	276	177	397	137
未払法人税等	-	507	108	126	74
その他	485	383	90	209	237
流動負債合計	930	3,436	4,241	5,608	3,138
長期借入金	-	383	670	1,188	1,398
その他	-	24	131	247	211
固定負債合計	-	407	801	1,435	1,609
負債合計	930	3,844	5,042	7,044	4,748
資本金	168	662	691	697	746
資本剰余金	139	633	662	668	717
利益剰余金	813	1,505	1,527	△180	△1,402
株主資本合計	1,121	2,800	2,880	1,184	62
純資産合計	1,129	2,854	2,985	1,312	100
負債純資産合計	2,059	6,698	8,028	8,356	4,848

3.財務データ(事業セグメント別売上)

(単位:百万円)	2007年7月期	2008年7月期	2009年7月期	2010年7月期	2011年7月期
フルスピードクラブ	-	-	-	-	1,011
SEO	1,138	1,931	1,809	1,263	395
リスティング広告	2,746	4,206	5,261	4,406	4,227
アフィリエイト広告	-	-	-	-	1,782
その他広告	278	407	316	369	295
その他	127	153	251	196	197
法人支援事業(*1)	4,291	6,698	7,638	6,236	7,910
アフィリエイトサービスプロバイダー事業(*2)	118	820	1,915	2,420	2,460
Webサイト運営・販売	431	498	362	4	34
EC	300	1,063	1,387	1,139	1,024
インターネットメディア事業	731	1,561	1,750	1,143	1,059
データセンター事業	-	217	649	676	817
その他広告代理事業	-	-	275	1,198	-
アパレル事業	-	-	-	1,501	4,186
その他事業	-	146	1,053	1,008	574
消去又は全社	-	-	△32	△56	△1,670
連結売上高合計	5,142	9,444	13,249	14,129	15,337

■ ご注意(事業セグメントの変更について)

2011年7月期第1四半期より、事業セグメントの区分について新設および変更いたしました。
そのため、変更したセグメントのうち、「インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業」および「アフィリエイトサービスプロバイダー事業」の区分については、前期までの売上数値を組み替えることが困難なため、既に公表済みの事業セグメント毎の数値を記載しております。

(添付資料) C.インターネット関連用語集

C インターネット関連用語集

1. 用語集①～②

40～41

1. 用語集①

用語一覧

■ SEM	Search Engine Marketing:「検索エンジンマーケティング」とも呼ばれる。SEOとリスティング広告を合わせた総称であり、検索エンジンを広告媒体として積極的に活用するプロモーション活動を意味する。	■ EC	Electronic Commerce:「電子商取引」とも呼ばれる。インターネット等コンピューターネットワーク上で、電子的な情報交換により商品やサービスを分配・売買すること。
■ SEO	検索エンジン最適化(英: Search Engine Optimization, SEO:サーチ・エンジン・オプティマイゼーション)はある特定の検索エンジンを対象として検索結果でより上位に現れるようにウェブページを書き換えること。または、その技術のこと。	■ ソーシャル・メディア	Social Media:ユーザーが情報を発信し、形成していくメディアのこと。ブログやSNS、インターネット上でお気に入り共有するソーシャルブックマーク、オンライン百科事典、クチコミサイト、掲示板などがある。
■ リスティング広告	検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果に表示されるテキスト広告のこと。通常の広告とは異なり、広告運用が不可欠。	■ SNS	Social Networking Service:参加するユーザーが互いに自分の趣味、好み、友人、社会生活などのことを公開しあったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型のWebサイトのこと。代表的なSNSとしては、mixiが挙げられる。
■ アフィリエイト広告	Webサイトやブログ等が企業サイトへのバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がそのリンクを経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。	■ Twitter	「いまなにしてる？」(What are you doing?)という質問に答え、短いテキストを投稿するだけのサービスで、「ミニブログ」と説明されることもある。米国で2006年7月に始まったサービスで、運営元は同名のベンチャー企業。

2. 用語集②

用語一覧

■ クラウド	Cloud: ネットワーク上に存在するサーバが提供するサービスを、それらのサーバ群を意識することなしに利用できるというコンピューティング形態を表す言葉。	■ ISP	Internet Services Provider: インターネット接続業者。電話回線やISDN回線、ADSL回線、光ファイバー回線、データ通信専用回線などを通じて、顧客である企業や家庭のコンピュータをインターネットに接続する。
■ ユビキタス	Ubiquitous: 情報化社会においてコンピューティング技術がいつでも・どこにでも存在し、利用できるという概念。 あらゆる情報端末、機器、物品が、多様なネットワークによって接続される環境のことをユビキタス・ネットワークと言う。	■ IPv6	アドレス資源の枯渇が心配される現行のインターネットプロトコル(IP)IPv4をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル。
■ スマートフォン	Smart Phone: コンピュータを内蔵し、音声通話以外に様々なデータ処理機能を持った携帯電話。電子メール機能やWebブラウザを内蔵し、インターネットに接続することができる。ソフトバンクのiPhone、ドコモのXperia、KDDIのIS seriesがこれにあたる。	■ IP	Internet Protocol: インターネットプロトコル。ネットワークに接続されているコンピュータの住所づけ、および通信方法を定義する規約。インターネットの基礎部分となる重要な役割を持つ。
■ アプリ	Appli: ある特定の目的のために設計されたソフトウェア。「応用ソフト」とも呼ばれ、どのソフトウェアにも共通する基本的な機能をまとめたOS(基本ソフト)に、ユーザが必要とするものを組み込んで利用する。	■ 百度 (バイドウ)	Baidu: 中国におけるインターネット検索エンジンの最大手。2007年3月現在では、中国におけるインターネット利用者の7割近くが百度検索を利用していると言われており、世界的大手のYahooやGoogleを抑えて中国国内トップシェアを獲得している。